



はつぴくん
廿日市市社会福祉協議会
マスコットキャラクター

廿日市市社会福祉協議会だより

編集・発行

社会福祉法人廿日市市社会福祉協議会

〒738-8512 広島県廿日市市新宮一丁目13番1号

TEL: (0829)20-0294 / FAX: (0829)20-1616

URL: <https://hatsupy.jp>



赤い羽根共同募金が始まります

10月1日から、今年も地域のささえあい運動がスタート

小さな思いやりが、わたしたちのまちの安心につながります

赤い羽根共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」として、子どもたちや高齢者、障がいのある人への支援、地域での見守りや居場所づくり、ボランティア活動、災害時の支援など、身近な福祉活動に役立てられています。

今年は運動80回目を迎える節目の年です。



皆さまのあたたかいご協力をお願いいたします



赤い羽根共同募金の使いみちは
赤い羽根データベース
「はねっと」をご覧ください



【訂正】あいとぴあNo.149号2ページに掲載の「収支決算グラフ」に誤りがありました。正しくは次のとおりです。
誤 433,266千円
正 443,266千円
お詫びして訂正いたします。

廿日市地域



畑口地区防災子供大会



7月29日、畑口地区を担当する民生委員児童委員の主催による「畑口地区防災子供大会」が開催されました。夏休みに子どもたちが地域で安心して過ごせる居場所をつくり、防災に関心を持ってもらいたいという声から生まれた活動です。



クイズを通して防災学習

はじめは緊張した様子の子どもたちでしたが、宮内小学校長も登場し畑口地区に関するクイズに挑戦。また地震と台風に関して学びました。子どもも大人も畑口地区や防災について一緒に考える時間となりました。その後は、消火器体験、たこ焼きづくり、レクグッズを使って交流しました。



ハイゼックスを使った炊飯によるカレーライスづくり

活動が進むにつれ、子どもたちの表情も和らぎ、地域の人たちとの会話も自然に増えていきました。サロン枝豆会の協力もあり、災害時の食事づくりを体験することで、防災を身近に考える機会となりました。

災害への備えの一つに、普段から顔なじみの関係をつくっておくことが大切です。

サロン参加者から「最近の子どもは誰か分からない」という声もありましたが、今回の活動を通して、「あの子は〇〇さん家のお孫さん」と分かり、新たなつながりが生まれる場にもなりました。

子どもも大人も一緒に体験し、食事を共にすることで、夏休みの思い出とともに防災の知識や地域のつながりを育む温かい活動となりました。



「みんなで食べると楽しい!」と、沖村颯斗君

大野地域

子育てサロンを紹介します!

～自由に過ごせる、ほっとする居場所～



のびのび広場

毎月第1・第2木曜日
大野東市民センター

子育て中の保護者と子どもたちが過ごせるつどいの場です。

「木曜日の午前中は、おうちが散らからない日。そんな気軽な気持ちで来てもらえたら嬉しいです!」と藤本さん



地域の幼稚園児の保護者やこれまでの参加者が世話人となって、平成22年の開設以来大切に受け継がれており、現代表の藤本友恵さんもサロン参加者の一人だったそうです。

初めての子育てに不安を感じる保護者の皆さんが、少しでも気分転換できる場所になればという思いを大切に活動されています。サロンでは、自由に遊んで過ごす日や親子で工作を楽しむ日など、参加者の希望に寄り添いながら内容を工夫しています。



上手にリースができたよ!

鯛山&子育てサロン

毎月第3木曜日
大野7区集会所



おもちゃがたくさんあるよ!

地域の高齢者と子育て世代が気軽に交流できる場として親しまれ、今年で10年目を迎えました。会場にはおもちゃなどが用意され、お茶を飲みながら楽しく交流しています。

参加者からは「子どもたちの姿に癒やされる」「一緒に遊んでもらえたり、子育ての相談ができて助かる」との声が聞かれました。

保護者同士や高齢者、区役員等との交流を通じ、地域のつながりづくりにも役立っています。



「特別なことはできませんが、気軽に来ていただき、お茶を飲みながら楽しい時間を過ごしてもらえればと思っています」と代表の石角修さん

大野地域には他にもたくさんの子育てサロンがあります。市社協は誰もが参加しやすいつどいの場を応援しています! サロンの開催日等の詳細情報は、お気軽に大野事務所までお問合せください。

ひきこもり家族会 【対象】ひきこもり状態にある方の家族 【日時】10/10(土)・12/12(土)10時~12時(要予約)

ひきこもり個別相談会 【対象】本人・家族 【アドバイザー】公認心理師 【日時】ご希望に応じて調整(予約制)

【場所】山崎本社みんなのあいプラザ 【問合せ/申込】ひきこもり支援ステーション「はつステ」

吉和地域

ひとり暮らし高齢者等懇談会「あつまろう家」

7月16日、「あつまろう家」を開催し、ひとり暮らし高齢者を中心に51人が参加されました。

会場では、久しぶりに会う、顔なじみ同士のあいさつや笑顔が見られ、なごやかな雰囲気の中で始まりました。

昼食は、「吉和ヘルスメイトグループ」の皆さんによる手作りの食事が振る舞われました。デザートはシベリア原産のルバーブを使った「ルバーブジャム入りヨーグルト」が提供され、参加者の皆さんはおいしそうに味わっていました。吉和ならではの食事に自然と会話が弾み、参加者同士のつながりが見られました。

また、地域包括支援センターさいきの職員による「人生これから100年ゲーム」の紹介、吉和駐在所巡査部長から特殊詐欺などの防犯についての講話、地元有志による「吉和の昔ばなし」として各地区の古い手書きの地図や懐かしい写真のスライドの説明がありました。

市社協ではこれからも、いつまでも地域で安心して暮らせるような地域づくりにつながるよう取り組んでいきます。

※ルバーブ：多年草の野菜（和名：食用大黄）



「人生これから100年ゲーム」をグループごとに体験しました

廿日市地域

あつまりん祭～体験してわかる！福祉って面白い！～

日時 10月17日（土）10：00～15：00

会場 山崎本社 みんなのあいプラザ内

子どもから大人まで、どなたでも参加できる福祉のお祭りです。

点訳・音訳・手話・車いす体験・視覚障がい者体験など、親子で楽しみながら福祉やボランティアに触れられる体験が盛りだくさん！

いろいろな体験に参加して、あつまりん祭チケット

トをGETしよう！

集めたチケットは、すてきな景品と交換できます。このほかにも、楽しいゲームコーナーやバザー、フードバンクへの食品寄付受付、作品展示などを予定しています。

見て、聞いて、体験して、楽しみながら福祉をもっと身近に感じてみませんか？

皆様のご来場をお待ちしています！

佐伯地域

第27回

心と心のハーモニーフェスタ

日時 10月24日（土）10：00～14：00

会場 さいき文化センター（津田市民センター）

施設利用者などのステージ発表

佐伯地域福祉施設の作品展示

車いす体験・福祉用具展示・神楽

フリーマーケット・バザー

赤い羽根街頭募金 など

吉和地域

2026よしわふれあいフェスタ

日時 11月7日（土）9：00～15：00

会場 吉和福祉センター（すこやかプラザ）

吉和保育園・吉和小中学校・吉和こども神楽団をはじめ、多彩な団体が出演予定のステージ発表の他、フリーマーケット、スタンプラリー、もの忘れチェック、健康チェックなどのコーナーを予定しています。

11月1日（日）から15日（日）まで、吉和ふれあい交流センターでは、保育園・小中学校の作品展示、地域福祉活動の紹介などを行います。

「成年後見制度専門相談会」兼「親族後見人相談会」を開催します（要予約、1人30分、無料）

【日時】11月25日（水）13時～16時 【予約開始日】10月1日（木）

【場所】山崎本社みんなのあいプラザ 【申込】成年後見利用促進センター

廿日市地域



たくさんの人で盛り上がりました

8月1日、阿品台市民センターで「夢あじなっ子夏まつり」が開催され、子どもから高齢者まで多くの地域の皆さんが集いました。

当日は、サロン夢あじなのボランティアに加え、廿日市西高等学校や日本赤十字広島看護大学の学生も協力。ゲームコーナーやカレー、焼きそばなどの食事



KEN-Gさんによる
けん玉パフォーマンス

を通して、世代を超えた交流が生まれました。

ステージでは、けん玉パフォーマーKEN-Gさんが見事な技を披露し、会場は大盛り上がり。参加者の笑顔があふれるひとときとなりました。



スーパーボール
たくさんすくえたよ！

参加者からは、「地域で気軽に集える場があってうれしい」「子どもたちの元気な姿を見て元気をもらえた」といった声が聞かれました。また、子育て中の保護者からも、「子どもと一緒に安心して参加できる場所があって助かる」など、喜びの声が寄せられました。



おいしいカレーを
ありがとう!!

サロン夢あじなでは、毎週木曜日の地域サロン「夢あじな」や、毎月第4土曜日の「夢あじなっ子食堂」を通じて、人と人とのつながりづくりを続けています。これからもみんなが気軽に集い、ささえあえる場として親しまれることが期待されます。

佐伯地域



今年2月に開催された津田女性会主催の「津田地域のつどい」で、地域の課題を共有したことをきっかけに、「地域のことを地域で解決しよう」という思いが高まり、新たな話し合いの会がスタートしました。

会の名前は「津田ランド設立委員会」。地域の人が集まり、「津田ランド!」の愛称で、4月から6回の話し合いを重ねてきました。

話し合いでは、「お互い様の関係性を大切にしたい」「それぞれの得意なことを生かしたい」「好きなことややりたいことに取り組みたい」「マルシェのようなイベントを開きたい」など、さまざまな意見が交わされました。その中で、「まずは津田夏祭りに出店してみよう」という声が上が

りました。「暑いけれどおでんが食べたい」「子どもたちにも楽しんでもらえるようにくじ引きもやってみよう」とアイデアがまとまり、8月1日の津田夏祭りの出店が決定しました。

当日は、佐伯高等学校の生徒たちもボランティアとして参加してくれました。猛暑の中、「熱いおでんが本当に売れるだろうか」と心配する声もありましたが、多くの人に足を運んでいただき、午後8時には見事に完売。最後はその場にいた皆さんで一本締めを行い、大きな拍手に包まれながら幕を閉じました。



高校生ボランティアは
浴衣で応援してくれました

今回の出店を通して、地域のつながりや協力の大切さを改めて実感する機会となりました。これからも「津田ランド!」の活動を通じて地域の交流を深めながら、一人ひとりが活躍できる場づくりを見守っていきます。

市社協会員加入のお願い 本会の事業をご支援くださる「市社協会員」を募集しております

地域福祉推進のため、皆さまの温かいご協力をお願いいたします。

【賛助会員】一口 2,000円～ 【団体会員】一口 5,000円 【お問合せ】総務課または各事務所

各地域の会員の声や、日頃の活動の様子をご紹介します。



吉和地域
提供会員Mさん

提供会員の活動については、社協の職員さんから聞いて知りました。私のこれまでの経験が依頼会員さんのお役に立てたらうれしく思い、登録しました。吉和地域では、普段からお互いに気に掛け合うつながりが自然に育まれています。この活動を少しでも地域の皆さんに知っていただき、その温かい輪がさらに広がっていくお手伝いができれば幸いです。



宮島地域
提供会員Hさん



佐伯地域
提供会員Nさん

友人に誘われたことをきっかけに、この支援活動を知りました。実際に関わる中で、地域でささえあうことの大切さを実感しています。活動を通して、人それぞれにさまざまな困りごとがあることを知り、私の活動が少しでも皆さんのお役に立てているなら、とてもうれしく思います。これからもこの活動を多くの人に知っていただき、「提供会員」が増えていくことを願っています。

～廿日市地域の活動紹介～

依頼会員のKさんと提供会員のOさんは、ファミリー・サポート・センターを介して10年以上交流を続けています。

この日は、冷蔵庫の中を確認しながら一緒に買い物メモを作成。「Oさんのおかげで助かっています」と話すKさんの笑顔からは、長年培われてきた信頼関係がうかがえます。



買い物同行の時間は日々の暮らしを支えるだけでなく、会員同士の温かなつながりを育む大切なひとときとなっています。

～大野地域の活動紹介～

依頼会員(廿日市地域)のHさんはご主人と協力しながら2人のお子さんを育てています。仕事と子育てを両立する中で、お互いの都合がつかない時にはファミリー・サポートを利用されています。夏休み中は、勤務先のある大野地域で、小学1年生の娘さんが児童会の開始時間まで提供会員Mさん宅で過ごします。



「できたよ！」
「上手ね」

おしゃべりや折り紙を楽しみながら安心して過ごし、時間になると提供会員Mさんと一緒に児童会へ向かいます。

居住地域とは異なる場所での支援ですが、保護者の勤務先やお子さんの通園・通所先に合わせて柔軟に利用できることで、人と人とのつながりが広がっています。



二次元コードからホームページもご覧ください

開催予定講座のご案内

10月13日(火)14時～16時 親プロ「よりそってみて・・・～子育て環境の変化を知る～」

11月17日(火)10時～12時 児童虐待防止・ヤングケアラー講習&交流会

12月17日(木)10時～12時 親プロ「スマホ時代の子供たち～身につけたいスマホリテラシー～」

終了した講座については、以下のホームページの記事でご確認いただけます。

救命講習、災害時高齢者生活支援講習について → <https://hatsupy.jp/news/>

「できること」から、一歩ずつ

市社協では、社会との関わりに不安を感じる人たちが、安心して過ごせる「居場所」を開催しています。この居場所は「名もなき居場所」として令和8年6月1日からスタートし、20代から70代まで、これまでに15人が参加しました。

この「名もなき居場所」では、参加者の「やってみたい」という気持ちを大切にし、さまざまな軽作業などに取り組んでいます。現在は、ホテルで使用されるバスソルトの製作やポケットティッシュへのチラシ封入などを行なっています。材料を量る、袋に詰める、チラシを封入するなど、一つひとつの作業を参加者同士で協力しながら丁寧に進めています。

軽作業を通じて、人と一緒に過ごすことや決められた作業に取り組むこと、完成させることを経験できます。こうした経験が生活リズムを整えたり、人との関わりを広げたり「自分にもできる」

という自信につながっていきます。

そして今回、居場所の参加者が作る手作り品が10月1日から始まるクラウドファンディングの返礼品になる予定です。自分たちの作ったものが誰かのもとへ届け、その支援が生活に困りごとを抱える人への食糧支援につながります。

居場所での「できること」が地域の誰かを支える力になります。支援する人、支援される人を固定せず、一人ひとりが「できること」で誰かを支えられる地域を目指します。

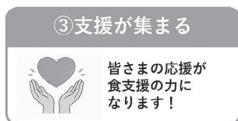
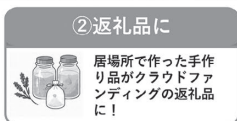
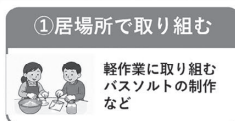
居場所では、軽作業のほか、卓球などのスポーツや読書なども楽しめ、今後は地域の飲食店の協力を得ながら、調理なども行なっていきます。

「名もなき居場所」は毎週月曜日13時から16時に開催しています。「ちょっと行ってみたい」人もお気軽にどうぞ。

あなたの「できること」が、誰かの支えになるかもしれません。



居場所で生まれた「できること」が、食支援を必要とする誰かにつながります。



食を通じて、地域とのつながりを

生活支援センターでは、生活に困りごとを抱える人へ市民や企業の皆さまからいただいた食糧をお届けするフードバンク事業を実施しています。

これまで、皆さまの温かい支援に支えられてきたフードバンクですが、この1年ほど、食糧の提供が大きく減少しています。物価高騰などにより、食糧を取り巻く環境も変化しています。一方で食糧支援を必要とする人からの相談は続いています。

そこで、これからも必要な人へ食糧を届けるため、新たな取り組みとして「つながる食支援プロジェクト」を立ち上げ、10月1日からクラウドファンディングを開始します。

このプロジェクトでは、生活に不安を抱える高齢者世帯などへ、次の支援を行います。

- ①定期的に食品をお届けし、生活の様子や困りごとを伺います。
- ②必要に応じて、生活・家計・仕事・住まいなどの相談支援につなぎます。
- ③食を届けることをきっかけに、人と人とのつながりをつくります。
- ④食糧の購入など支援の継続に活用します。
- ⑤居場所の参加者が作る手作り品を返礼品としてお届けします。

「食糧の寄付は難しいけれど、何か力になりたい」という人も、クラウドファンディングを通じて活動を応援していただけます。

一人ひとりの支援が、誰かの食事と安心、地域とのつながりになります。

皆さんの温かいご支援を、よろしく願いいたします。



10月1日から募集開始！「つながる食支援プロジェクト」を応援してください！

「つながる食支援プロジェクト」の詳細、クラウドファンディングへのご支援は二次元コードから【問合せ】生活支援センター



のびる愛の手

令和8年5月6日から令和8年8月5日まで

次の方々から、本会に温かいご寄付をいただき、誠にありがとうございました。

本会への寄付は、所得税・法人税などの寄付金控除の対象となります。

(金一封の方については、金額表示がありません。)

《一般寄付》

氏 名 (コメント) 金額等

【廿日市地域】

(株)アッシュ様

(廿日市市の障がいをもった子どもたちへ)

田丸 政治様 33,371円

(第8回ハン・ジナ&歌好き人の歌謡祭)

明治安田生命広島廿日市営業所様

地御前公民館リメイククラブ一同様

(故青木ハル様のご指導に心より感謝申し上げます) 5,000円

匿名 2件

【佐伯地域】

ボランティアグループおもちゃの会様

(地域福祉のために)

広域十二神祇神楽連絡協議会様

【大野地域】

匿名(障がい児の手助けのために) 4件

匿名(大野地域の福祉向上のために) 1件

《香典返しにかえて》

氏 名 (故人名) 地 域

【廿日市地域】

向井 敏美様 (向井 初子様) 上平良

【佐伯地域】

佐藤 博子様 (佐藤 律夫様) 津田

中村 真和様 (中村 行伸様) 津田

【吉和地域】

吉岡 利賀夫様 (吉岡 純子様) 吉和

阿羅田 良夫様 (広兼 勝子様) 広島市

【宮島地域】

平田 久美子様 (平田 雅彦様) 上西連町

本多 直美様 (長谷崎 幸子様) 中之町浜

平野 清様 (平野 芳子様) 下中西町

災害時にささえあえる地域をめざして

市社協では毎年、台風や大雨などによる災害が起こりやすい出水期に、「廿日市市被災者生活サポートボラネット推進会議」を開催しています。

廿日市市被災者生活サポートボラネットとは、廿日市市内で大規模災害が発生した際に、被災者の生活を支えるボランティア活動を調整し、生活再建を支援するネットワークです。平常時から関係機関・団体が顔の見える関係をつくり、災害時に速やかに連携できる体制づくりを進めています。

今回の会議では、はじめに市社協が市ボラネットの取組みや今年度の計画について説明しました。続いて、広島県社協から他市町の関係機関の取組み事例について、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンターからは災害中間支援組織の取組みについて実際の被災地支援に基づく情報提供がありました。

その後のグループワークでは、所属団体でできる支援や連携、平常時から必要な備え、今後新たに連携できる組織・機関などについて意見交換を行いました。参加者からは、日頃からの情報共有や役割確認、地域の多様な団体とのつながり、顔の見える関係を築くことの大切さについて、多くの意見が出されました。

災害はいつ、どこで起こるかわかりません。いざというときに迅速に被災者へ必要な支援を届けるためには、平常時からの備えと、関係機関・団体、地域住民の協働が欠かせません。

市社協では、今後も市ボラネットの取組みを通じて、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを進めていきます。



令和8年熊本地震並びに令和8年8月千葉豪雨に被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

本会では義援金箱を設置しております。お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて被災者に届けられます。

デジタル図書・点訳本あります

目が不自由な人のために、「あいとぴあ」「広報はつかいち」を音訳、点訳しています。そのほかにも音訳、点訳してお届けしています。詳しくは、市社協へお問合せください。



車いすを操作して、障害物のある道路を体験

6月19日、廿日市市障害者福祉協議会宮島支部が「第17回宮島まち点検」を実施しました。

当日は、観光客の往来が多い区域を24人で点検し、車いすの介助や乗車を体験しました。「道路のくぼみや段差は車いすの操作がしづらい」「『止まれ』の路面表示が薄い」など、普段は気付きにくい課題や危険箇所を共有しました。

一方で、滑り止め加工が施されたグレーチングや多目的トイレの整備、人力車事業者による清掃活動など、地域の取組みも確認しました。

市社協では、今後も障がいの有無にかかわらず、誰もが安心して暮らし、訪れることのできる「ひとりひとりにやさしい町」の実現に向け、地域の皆さんとともに取り組んでいきます。

「その人らしく生きる」を支える

～成年後見制度市民公開セミナー開催～

8月17日に令和8年度「成年後見制度市民公開セミナー」を開催しました。

今回は司法書士の松田佐智子さんを講師に迎え、成年後見制度の内容や、利用の流れについて、事例を交えながら、わかりやすく解説していただきました。

講義を通して、成年後見制度は本人の権利や財産を守り、本人らしい生活を支えるための制度であることを学びました。

参加者からは「名前は知っていたけれど内容は知らなかったのでよい機会になった」等の感想が寄せられました。

今後も「その人らしく生きる」を支えるために、制度の周知に努めます。



「成年後見制度は本人のための制度であり、判断能力が衰えても『自分のことは自分で決める』ことを支えることが大切」と講師の松田さん

窓口一覧



社会福祉法人

廿日市市社会福祉協議会

Hatsukaichi Council of Social Welfare

〒738-8512 広島県廿日市市新宮一丁目13番1号

山崎本社みんなのあいプラザ(総合健康福祉センター)内

TEL (0829)20-0294

FAX (0829)20-1616

総務課

E-Mail soumu@hatsupy.jp

地域福祉課 地域支援係

E-Mail chiiki@hatsupy.jp

ボランティアセンター

E-Mail vc-h@hatsupy.jp

生活支援課 権利擁護係

E-Mail kakehashi@hatsupy.jp

訪問介護センター

E-Mail houmon@hatsupy.jp

成年後見利用促進センター

TEL 20-5176 FAX 20-1616

E-Mail kouken@hatsupy.jp

生活支援センター

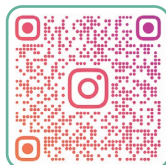
TEL 20-4080 FAX 20-5412

E-Mail seikatsu@hatsupy.jp

ひきこもり支援ステーション

TEL 30-0112 FAX 20-5412

E-Mail hatsusute@hatsupy.jp



佐伯事務所

〒738-0222 広島県廿日市市津田4109番地

佐伯社会福祉センター内

TEL 72-0868 FAX 72-1005

E-Mail saiki@hatsupy.jp

吉和事務所

〒738-0301 広島県廿日市市吉和1771番地1

すこやかプラザ(吉和福祉センター)内

TEL 77-2883 FAX 77-2514

E-Mail yoshiwa@hatsupy.jp

大野事務所

〒739-0492 広島県廿日市市大野一丁目1番1号

大野支所 3階

TEL 55-3294 FAX 55-3275

E-Mail ohno@hatsupy.jp

宮島事務所

〒739-0506 広島県廿日市市宮島町960番地2

宮島福祉センター内

TEL 44-2785 FAX 44-2661

E-Mail miyajima@hatsupy.jp